

29年11月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成29年 11月1日～ 29年11月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
11月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 29/11月 | 12月 | 30/1月 |
|------|------|--------|--------|--------|
| 入荷動向 | スギ | 8.3 | △ 20.0 | △ 10.0 |
| | ヒノキ | 16.7 | △ 16.7 | 0.0 |
| | カラマツ | 0.0 | 10.0 | 20.0 |
| | トドマツ | △ 16.7 | 0.0 | 16.7 |
| 消費動向 | スギ | 8.3 | 0.0 | 0.0 |
| | ヒノキ | 0.0 | 0.0 | △ 16.7 |
| | カラマツ | 20.0 | 20.0 | 8.3 |
| | トドマツ | 16.7 | 16.7 | 16.7 |
| 在庫動向 | スギ | △ 8.3 | △ 10.0 | △ 10.0 |
| | ヒノキ | 16.7 | 0.0 | 0.0 |
| | カラマツ | △ 16.7 | △ 20.0 | △ 10.0 |
| | トドマツ | △ 33.3 | △ 16.7 | 0.0 |

・スギ原木の入荷動向は11月の増加から12月、1月は減少に。ヒノキは11月の増加から12月は減少、1月は横ばいに。カラマツは11月の横ばいから12月、1月は増加に。トドマツは11月の減少から12月は横ばい、1月は増加に。

・スギ原木の消費動向は11月の増加から12月、1月は横ばいに。ヒノキは11月、12月の横ばいから1月は減少に。カラマツ、トドマツは3か月連続増加。

・スギ、カラマツの在庫動向は3か月連続減少。ヒノキは11月の増加から12月、1月は横ばいに。トドマツは11月、12月の減少から1月は横ばいに。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

| 品目 | 29/11月 | 12月 | 30/1月 |
|--------|--------|------|-------|
| スギ | 8.3 | 10.0 | 12.5 |
| ヒノキ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| カラマツ | 20.0 | 12.5 | 16.7 |
| 米マツ | 50.0 | 50.0 | 50.0 |
| 北洋カラマツ | 50.0 | 50.0 | 33.3 |
| その他 | - | - | - |

・スギ、ヒノキ合板用原木の購入価格動向は保合。カラマツはやや強含み。

・米マツ、北洋カラマツとも強含み。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

・生産に合わせての入荷。丸太も安定した入荷。消費は総生産量が先月と同じにより横ばい。
・インテリア用スギ丸太調達。カラマツ=LVL用の調達量増加。地域材のスギの需要拡大。構造用LVL需要好調。
・現在は順調に入荷しているが、冬は除雪の場所の確保も必要となるため、土場のスペースが限られる。非構造用合板のフロー台板の生産が増えており、トドマツ丸太の消費が増えている。スギ丸太の在庫は潤沢に確保している。
・問題なく入荷している。フル生産であるが、思うように生産増えず。
・計画通り入荷。当月はヒノキの丸太の消費が増加傾向。在庫はほぼ横ばい。
・入荷は増やしたいところだが、市場価格が高いため市場へ材が流れている。気温が下がったため乾燥量が落ち始めてきた。在庫は現状をキープしていきたい。

(原木価格)

・国内は横ばい。外材は少し上昇。
・米マツ、北洋カラマツは原木不足と船運賃の上昇で価格上昇傾向。年明けまでは続くと予想。
・国産カラマツと外材は上昇中。今後全樹種において不安(上昇)あり。
・12月末まで横ばい。来年1月より変動の可能性あり。
・在庫を見ながら柔軟に対応したい。

29年11月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 29/11月 | 12月 | 30/1月 |
|------|----------|--------|--------|--------|
| 生産動向 | 構造用(9mm) | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 〃 (12mm) | 16.7 | 10.0 | 0.0 |
| | 〃 (15mm) | 0.0 | 10.0 | 0.0 |
| | 〃 (24mm) | 8.3 | 10.0 | 0.0 |
| | 〃 (28mm) | 8.3 | 10.0 | 0.0 |
| 出荷動向 | 構造用(9mm) | 16.7 | △ 10.0 | △ 10.0 |
| | 〃 (12mm) | 14.3 | 0.0 | △ 8.3 |
| | 〃 (15mm) | 7.1 | 0.0 | 0.0 |
| | 〃 (24mm) | 14.3 | 0.0 | 0.0 |
| | 〃 (28mm) | 8.3 | 0.0 | 0.0 |
| 在庫動向 | 構造用(9mm) | △ 8.3 | △ 10.0 | 0.0 |
| | 〃 (12mm) | △ 7.1 | △ 8.3 | 0.0 |
| | 〃 (15mm) | △ 7.1 | △ 8.3 | 0.0 |
| | 〃 (24mm) | △ 7.1 | △ 8.3 | 0.0 |
| | 〃 (28mm) | △ 8.3 | △ 10.0 | 0.0 |

・構造用合板の生産動向は9mmは3カ月連続横ばい推移。12mm、24mm、28mmは11月、12月の増加から1月は横ばいに。15mmは11月の横ばいから12月は増加、1月は再び横ばいに。

・出荷動向は9mmは11月の増加から12月、1月は減少に。12mmは11月増加から12月は横ばい、1月は減少に。15mm、24mm、28mmは11月の増加から12月、1月は横ばいに。

・在庫動向は全品目で11月、12月の減少から1月は横ばいに。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

| 品目 | 29/11月 | 12月 | 30/1月 |
|----------|--------|------|-------|
| 構造用(9mm) | 8.3 | 10.0 | 10.0 |
| 〃 (12mm) | 14.3 | 8.3 | 8.3 |
| 〃 (15mm) | 7.1 | 8.3 | 8.3 |
| 〃 (24mm) | 14.3 | 8.3 | 8.3 |
| 〃 (28mm) | 10.0 | 0.0 | 0.0 |

・構造用合板の出荷価格動向は総じて横ばい推移。

モニターからのコメント

(構造用合板の荷動き)

- ・12mmの受注が多いため15mmの生産を減らして12mmを増やす。12mmの生産を増やした分は出荷増。15mmは減。生産をした分出荷。在庫は全品目品薄状態。
- ・構造用28mm合板は3カ月連続製造なし。
- ・フル生産を継続中。輸入合板の入荷が先行き不透明であり、国内フローメーカーより、非構造用合板のフロー台板の生産依頼が増えてきている。全体的に出荷は堅調。生産分を出荷している状態で、在庫は増えてこない。
- ・フル稼働ではあるが、冬場にて思うように生産伸びず。出荷は引き合いが多く、納期に時間を要する。在庫は増えずに減少。
- ・生産、出荷とも計画通り推移。在庫はほぼ横ばい。
- ・生産はフル稼働で順調に推移。発注状況に合わせての生産となる。12mm、ネダノンともに流通からの引き合いは強い状態が続く。特に24mmに引き合いが集中している。在庫は引き続き低水準のままで推移する。

(構造用合板の価格)

- ・先月値上げしきれなかった分上昇。
- ・全品目価格は横ばいと予想。
- ・外的要因（原材料、輸送費等）が上昇気配にあり、それに伴い合板価格の上昇もある。
- ・多少値動きあるもほぼ横ばい。
- ・価格は横ばい。このまま様子見状態。